

令和 4 年度 自己点検・評価

実施日

令和 5 年 3 月 21 日

奈良国際日本語学校

自己点検・評価項目について

この点検・評価項目は、奈良国際日本語学校が自己点検・評価を行うに際し、その参考となるように項目を設定して作成したものである。

項目は、教育活動を支える設置者及びそのマネジメントに関する部分と、運営に関する部分から成っている。前者には大項目として理念・教育目標、組織、財務、教育環境、安全・危機管理、法令の遵守等を設け、主に規範に基づいた組織・環境が整えられているかを確認する。後者には運営全般、学生募集、教育活動、学生支援、教育成果を設けて、現場の学校運営が効果的に行われているかを点検・評価する。大項目の下には、それぞれ中項目や小項目を設定している。

点検に際しては、まず小項目及び中項目を点検・評価し、大項目で達成状況、課題、改善計画等を記述する。

点検・評価に当たっては、各項目に応じた業務担当の責任者と校務の統括責任者による態勢を組んで行う。

項目の内容の達成に度合いがあるものの評価は、AB評価として、次の分類とする。

- A : 達成されている。
- B : ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。
- C : 達成に向けて努力している。
- D : 達成されていない／必要性に気づいていなかった。

項目の内容が成立しているか否かの二択でされるものの評価は、OX評価として以下の分類とする

- : 成立している
- × : 成立していない

第1 設置者及びマネジメント

1 理念・教育目標

1-1 理念と教育目標

<理念>

本校では、日本語を楽しく学び、お互いのコミュニケーションが促進されるような空間を構築し、学生達が日本の歴史、文化、伝統を理解しながら、日本語能力と共に日本の習慣やマナーを身につけられるような指導を行う。

<教育目標>

一定の日本語能力を身につけさせると共に、日本の社会で通じるマナー等の基本的振舞いを習得し、相互理解力を持った国際的人材の育成を目指す。そして、将来的に日本と関連する様々な活動の現場で活躍し得るように、日本の高等教育機関への進学を個々の学生の当面の目標として掲げるものとする。

OX 評価 [0] 1-1 上記の理念と教育目標が教職員、学生に周知されている。

1. 理念・教育目標について

理念と教育目標は妥当である。

2 組織

2-1 組織態勢

OX 評価 [0] 2-1-1 設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の告示基準」で定められた要件に適合している。

AB 評価 [B] 2-1-2 事業規模に応じた組織態勢になっている。

AB 評価 [B] 2-1-3 受け入れようとする学生の言語への対応策が講じられている。

まとめ

基本的には、認可申請時と変わらないが、コロナ禍の経験から、オンラインでのやり取りが充実し、情報の伝達不足は補われている。

2-2 教員組織

OX 評価 [0] 2-2-1 校長、主任教員及び教員は、「日本語教育機関の告示基準」で定める要件を備えている。

OX 評価 [0] 2-2-2 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められている。

AB 評価 [B] 2-2-3 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質が明示され、その獲得の為に必要な対策が講じられている。

まとめ

基本的には認可申請時に教員は準備されていたが、コロナ禍を経て、新入生の入国が通常と異なり、状況に応じた対応が求められた

2-3 事務組織

OX 評価 [0] 2-3-1 生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限が明確化されている。

OX 評価 [O] 2-3-2 生活指導責任者及び入管事務担当者が学生及び教職員に周知されている。

OX 評価 [O] 2-3-3 入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。

まとめ 担当は決めてあるが、小さな学校であり、実質的には、担当の枠を超えた総力体制である。

2-4 採用と育成

OX 評価 [O] 2-4-1 教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されている。

AB 評価 [B] 2-4-2 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。

AB 評価 [B] 2-4-3 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。

AB 評価 [B] 2-4-4 教員及び職員の評価を適切に行っている。

まとめ 教育体制、教員間の連絡体制も整え、各教員の状況、授業の様子なども把握しながら、全体の連携を図り、教育活動を行っている。

2. 組織について

入国制限が解かれてから、来る学生の対応に最善を尽くすのに精一杯で、組織の在り方の検証は十分とは言えないが、状況に対応しつつ、検討の継続も行っている。

3 財務

3-1 財務状況

AB 評価 [B] 3-1-1 財務状況は、中長期的に安定している。

AB 評価 [B] 3-1-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。

まとめ 想定外だったコロナ禍の状況で、現段階で妥当性が保たれているとは言えないが、留学生の入国制限さえ解除されれば、妥当性が見込まれる。

3. 財務について

コロナ禍による留学生の入国制限が解除され、ば、財務状況も見通しが立っている。

4 教育環境

4-1 校地、校舎

- OX 評価 [0] 4-1-1 教育機関として適切な位置環境にある。
- OX 評価 [0] 4-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されている。
- OX 評価 [0] 4-1-3 校舎面積は、「日本語教育機関の告示基準」に適合している。

まとめ 校地・校舎は認可申請時のまま適合性を維持している。

4-2 施設、設備

- OX 評価 [0] 4-2-1 教室、その他の施設は、「日本語教育機関の告示基準」に適合している。
- AB 評価 [0] 4-2-2 教室内は、十分な照度があり、換気がなされている。
- AB 評価 [0] 4-2-3 すべての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。
- OX 評価 [0] 4-2-4 授業時間外に自習できる部屋が確保されている。
- AB 評価 [B] 4-2-5 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。
- AB 評価 [B] 4-2-6 視聴覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されている。
- AB 評価 [B] 4-2-7 教員及び職員の執務に必要なスペースが確保されている。
- AB 評価 [B] 4-2-8 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレが設置されている。
- OX 評価 [0] 4-2-9 法令上必要な設備等が備えられている。
- OX 評価 [0] 4-2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。

まとめ 必要な設備の点検過程で、不足・補充の必要なものは確認されており、近い内に完備予定。

4. 教育環境について

校舎の建物等は基準を満たしているものの、校舎の形状等から、使用に工夫が必要だが、必要なものは完備しており、教育運営計画に基づいて更なる設備の補充中である。

5 安全・危機管理

- 5-1 健康・衛生
- AB 評価 [0] 5-1-1 健康、衛生面について指導する態勢を整えている。
- OX 評価 [0] 5-1-2 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて、傷害保険にも加入している。
- OX 評価 [0] 5-1-3 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている。
- OX 評価 [0] 5-1-4 感染症発生時の措置を定めている。

まとめ 国民健康保険、留学生保険は全員加入しており、緊急時は、教職員総動員体制で対応している。

- 5-2 危機管理
- AB 評価 [B] 5-2-1 危機管理態勢が整備されている。
- AB 評価 [B] 5-2-2 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めている。
- OX 評価 [0] 5-2-3 気象警報が発令された場合の措置を定めている。
- OX 評価 [0] 5-2-4 災害等に対する避難訓練を定期的実施している。
- OX 評価 [0] 5-2-5 防災用品が備蓄されている。

まとめ 自然災害時の対応は学生入学後、オリエンテーションを行い、日程を定めて防災訓練を行う。

5. 安全・危機管理について

必要な保険加入と防災設備に支障がないように、常に点検を繰り返すことと、教職員が常に冷静な判断を下せるように会議を重ねておく。

6 法令の遵守等

- 6-1 法令の遵守
- OX 評価 [0] 6-1-1 法令遵守に関する担当者を特定している。
- OX 評価 [0] 6-1-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。
- OX 評価 [0] 6-1-3 個人情報保護のための対策がとられている。
- OX 評価 [0] 6-1-4 入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。

まとめ 入学前の学生情報の管理を徹底し、機関としての管理庁への報告義務にも努めている。
学生が来るようになれば個人情報の保護も徹底すべく教職員への教育も進めている。

6. 法令の遵守等について

定められた告示基準を維持することは勿論、学生が来るようになって、法の定めに従って学生及び教職員が法によって守られ、健全な学校運営を実施できるよう準備し、周知していくべく準備中である。

第2 運営に関する事項

7 運営全般

7-1 組織的な運営

OX 評価 [0] 7-1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。

AB 評価 [B] 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている。

AB 評価 [B] 7-1-3 意志決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能している。

AB 評価 [B] 7-1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である。

AB 評価 [B] 7-1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。

まとめ 入国制限が解かれ、正常な運営状況が整えられつつある。

7-2 納付金

OX 評価 [0] 7-2-1 入学検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付時期が明示されている。

OX 評価 [0] 7-2-2 学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。

OX 評価 [0] 7-2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。

まとめ 納付金は全て明示され、返金規定も公開されている。

7-3 情報の共有化及び発信

AB 評価 [B] 7-3-1 外部からの情報提供が効率的になされ、かつ、共有化する仕組みがある。

AB 評価 [B] 7-3-2 内部からの情報発信が効率的に行われている。

AB 評価 [B] 7-3-3 入学希望者・学習者及びその利害関係者（経費支弁者等）の理解できる言語で直接乃至は間接的に情報提供を行っている。

まとめ 学生からの入学申請時には原則的に申請者のみならず経費支弁者ともオンラインで連絡を取り、その後も仲介機関を通して情報のやり取りをして情報の共有に努めている。

7. 運営全般について

入国制限の解除後、しばらくコロナ・ウイルス感染対策が必要な状況が続くと予想されるのでそれも見据えて運営に支障がないように準備を進めている状況である。

8 学生募集

8-1 募集方針

OX 評価 [0] 8-1-1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。

OX 評価 [0] 8-1-2 募集定員を定めている。

OX 評価 [0] 8-1-3 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。

まとめ 基本的な計画に基づき、校長が直接に学生募集をおこなっており、書面や電子的な方法で必要な情報を学生仲介機関に伝えている。

8-2 募集活動

AB 評価 [B] 8-2-1 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されている。

OX 評価 [B] 8-2-2 求める学生像を明示している。

AB 評価 [B] 8-2-3 応募資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明示している。

OX 評価 [0] 8-2-4 募集活動を行う国・地域の法令を遵守した募集活動を行っている。

AB 評価 [A] 8-2-5 海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行っている。

AB 評価 [B] 8-2-6 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。

まとめ 海外の仲介機関とは比較的良好な関係築かれており、健全な募集活動が行われている。こちらの状況をできるだけ詳細に伝えるとともに、申請希望者やその家族とも必要な相互連絡が取れるようにしている。

い z 8- 入学選考
3

- OX 評価 [0] 8-3-1 入学選考基準及び方法が明確化されている。
- AB 評価 [B] 8-3-2 学生情報を正確に把握し、及び提出書類により確認を行っている。
- AB 評価 [B] 8-3-3 入学選考を行う態勢が整備されている。
- OX 評価 [0] 8-3-4 受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。

まとめ コロナ禍で対面での面接は難しいが、申請希望者はオンラインで必ず面接を行い、一定の基準を確認すると共に、先方の疑問点にも答え、意思疎通を図って入学選考を行っている。

8. 学生募集について

各国現地で日本語を教えている各仲介機関と健全な関係を保ち、純粋に日本留学を希望して基礎的な日本語を学習している学生の選抜が比較的順調に行われている。

9 教育活動

9-1 企画

- OX 評価 [0] 9-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われている。
- OX 評価 [0] 9-1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされている。
- AB 評価 [B] 9-1-3 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。
- AB 評価 [B] 9-1-4 カリキュラムは、体系的に編成されている。
- AB 評価 [B] 9-1-5 教育目標に合致した教材が選定されている。
- OX 評価 [B] 9-1-6 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。
- AB 評価 [B] 9-1-7 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供している。
- AB 評価 [B] 9-1-8 教員配置が適切になされている。

まとめ コロナ禍の休業期間のため、予定された教員の変更もあったが、

9-2 実施

OX 評価	[0]	9-2-1	授業開始までに学生の能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。
AB 評価	[A]	9-2-2	教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。
OX 評価	[X]	9-2-3	開示されたシラバスによって授業が行われている。
OX 評価	[0]	9-2-4	修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されている。
AB 評価	[A]	9-2-5	教育内容に応じて教育用機器を活用している。
AB 評価	[A]	9-2-6	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。
AB 評価	[A]	9-2-7	理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われている。
AB 評価	[B]	9-2-8	学生の自己評価を把握している。
AB 評価	[B]	9-2-9	個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われている。
AB 評価	[B]	9-2-10	特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。
AB 評価	[B]	9-2-11	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。
AB 評価	[B]	9-2-12	学習内容、時間割と学年暦、成績判定の基準と方法、学習上の留意点、留学生活上の留意点、入管法上の留意点とこれらについての相談担当者名が入学時に学生に伝えられている。

まとめ

教育や学生管理は、し得る最善を尽くす努力をしているが、学生達に日本の教育や生活の現場について、認識のギャップがあるようで、日本での教育効果を高めるためにも、事前の認識を高める工夫も求められる。

9-3 成績判定

OX 評価	[0]	9-3-1	判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されている。
OX 評価	[0]	9-3-2	成績判定結果を的確に学生に伝えている。
AB 評価	[B]	9-3-3	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。

まとめ

可能な限妥当な判定基準を目指しているが、新規校で歴代の学生がおらず、比較対象が現存の学生だけで、客観性を高めるためにも年毎の検証が必要である。

9-4 授業評価

- OX 評価 [X] 9-4-1 授業評価を定期的に行っている。
- AB 評価 [0] 9-4-2 評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。
- OX 評価 [x] 9-4-3 学生による授業評価を定期的に行っている。
- AB 評価 [B] 9-4-4 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。

まとめ 専任教員による非常勤教員の評価は必要に応じて試みられているが、学生による評価は客観性を得るための検討が必要。

9. 教育活動について

されており、ベテラン教員の坂田氏を中心に、教育活動は比較的適切に展開されており、2年目を迎えて実質的な成果にむけて、新規校としては試行錯誤を続けて、よりベストな活動内容を蓄積していく姿勢で今後の教育活動の充実を目指す。

10 学生支援

10-1 支援態勢

- AB 評価 [B] 10-1-1 学生支援計画を策定し、支援態勢が整備されている。
- AB 評価 [B] 10-1-2 休日及び長期休暇中の学生対応ができています。

まとめ 事故、急な発病などの緊急時の対応は教職員及び経営陣が協力して対応。休暇中、緊急時に教職員と連絡がつかない場合の110番、119番の使い方も指導し、実際に急な発病で119番を適切に使用した例もあり。

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

- OX 評価 [0] 10-2-1 入学直後のオリエンテーションを実施している。
- OX 評価 [0] 10-2-2 生活に関するオリエンテーションを実施している。
- AB 評価 [0] 10-2-3 地域交流や地域活動の機会への参加を積極的に促している。

まとめ コロナ禍で、諸行事への参加は控えられてきたが、地域柄、文化施設を無料で観覧できるサービス等を受けられる優待券等の配布を受けている。

10-3 生活面における支援

- OX 評価 [0] 10-3-1 住居支援を行っている。
- OX 評価 [0] 10-3-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。

AB 評価 [B] 10-3-3 交通事故等の相談態勢が整備されている。

OX 評価 [A] 10-3-4 定期的に健康診断を実施している。

OX 評価 [B] 10-3-5 学生全体の生活状況について定期的に調査している。

まとめ 健康、経済的側面から、定期的に学生の確認を促している。

10-4 進路に関する支援

OX 評価 [O] 10-4-1 進路指導担当者が特定されている。

AB 評価 [B] 10-4-2 学生の希望する進路を把握している。

AB 評価 [A] 10-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。

AB 評価 [A] 10-4-4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。

まとめ 進学に関しては、概して日本語学校生のゴールでもあるので、相当に気を使って進学先校補校の情報の入手・紹介を試みながら学生の指導を実施。

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

AB 評価 [A] 10-5-1 担当者は、研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っている。

OX 評価 [A] 10-5-2 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。

AB 評価 [A] 10-5-3 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。

OX 評価 [A] 10-5-4 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。

AB 評価 [A] 10-5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。

OX 評価 [O] 10-5-6 過去 3 年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。

まとめ 在留資格に傷がつけば、留學生活の根幹を揺るがすことになるので、犯罪行為は勿論、資格外活動違反等のないように、注意を払っている。

11 教育成果

11-1 成果の判定

OX 評価 [] 11-1-1 進級及び卒業判定が適切に行われている。

OX 評価 [0] 11-1-2 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。

まとめ

日本語能力試験の受験料は学費に組み込んでいるので、原則的に学校が主体で全員に受験させ、その他の外部試験も必要に応じて紹介し、学生の教育、進学指導に役立っている。
--

11-2 卒業生の状況の把握 **【新規校で卒業生未輩出につき、以下 評価対象外】**

OX 評価 [] 11-2-1 卒業生の状況を把握するための取組を行っている。

OX 評価 [] 11-2-2 卒業後の進路を把握している。

AB 評価 [] 11-2-3 進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握に努めている。

まとめ

--

11. 教育成果について

--

自己点検・評価

日本語教育機関名：奈良国際日本語学校

点検・評価実施日：令和5年3月21日

実施責任者：大平佳和

実施担当者名(役職)：大平佳和(校長兼教務主任)、坂田勇(専任教員)、吉田浩巳(設置代表者)

令和4年度 自己点検評価

[総括]

出入国管理及び難民認定法の定める規定に基づく日本語教育機関として告示を受けたが、令和2年度に入学する予定の学生はおらず、専ら、次年度に学生を迎えるための、学生募集と受け入れ体制の準備に留まり、令和3年度は、その甲斐あって入学予定者を相当数確保したにも関わらず、予期せぬコロナ禍に見舞われ、昨年度までは、当自己点検評価自体が限られたものであったが、今年度はようやく留学生の入国制限が解除され、学生達を向かい入れた学校として正常な自己点検に取り組むことができた。ただし、まだ卒業生は輩出していないのにて、卒業生に係る項目のみ、**評価対象外**と示した。

入国制限が緩和されたとは言え、まだ続くコロナ禍での制限を受ける中での段階的な新乳清の入国だったため、一定数の学生が入国してからクラスを編成して教室活動を始めるという形を取らざるをえなかった。

時を同じくして、ロシアのウクライナ侵攻の影響で、それまでのように学費の銀行送金ができなくなり、キルギスの留学生の仲介役をしていた東京在住のキルギスの方の尽力により、遅れて学費等の入金を果たし、本来4月入学の予定だったキルギスの学生達は、10月期入学の学生達と一緒に10月入学を果たし、ほんの一部分の辞退者を除き、入学予定者がめでたく新規校である当校に入学を果たした。

教職員は既存校で、留学生の受入れを経験してきたものの、留学生を直接受け入れる経験が初めての経営者サイドに現場の教職員サイドから情報を提供して理解を促しながらの運営となるため、どうしても多少のぎこちなさはあったものの、双方の努力で、何とか コロナ禍における新しい学校の運営初年度をやったのけたことは評価に値すると自負したい。

最終的に、残る1年で、落伍者を出さず、全学生が高等教育機関に進む結果を残せる十分な可能性を残す学生在学初年度となったことをここに確認する。